

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年12月13日 (2012.12.13)

【公表番号】特表2009-523124(P2009-523124A)

【公表日】平成21年6月18日 (2009.6.18)

【年通号数】公開・登録公報2009-024

【出願番号】特願2008-546224(P2008-546224)

【国際特許分類】

C 0 7 D 233/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 13/10 (2006.01)

A 6 1 P 1/12 (2006.01)

A 6 1 P 17/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/32 (2006.01)

A 6 1 P 25/36 (2006.01)

A 6 1 P 25/30 (2006.01)

A 6 1 P 25/22 (2006.01)

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

C 0 7 D 333/20 (2006.01)

A 6 1 K 31/381 (2006.01)

A 6 1 K 31/4164 (2006.01)

C 0 7 D 409/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/4178 (2006.01)

C 0 7 C 223/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 233/28 C S P

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 13/10

A 6 1 P 1/12

A 6 1 P 17/04

A 6 1 P 25/32

A 6 1 P 25/36

A 6 1 P 25/30

A 6 1 P 25/22

A 6 1 K 31/137

C 0 7 D 333/20

A 6 1 K 31/381

A 6 1 K 31/4164

C 0 7 D 409/08

A 6 1 K 31/4178

C 0 7 C 223/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年10月26日 (2012.10.26)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0002】

痛み、特に神経障害性痛の治療は、医療において重要な意味を有する。有効な痛み治療が世界的に要求されている。慢性及び非慢性痛状態の患者に合い、かつ目的にかなった治療への研究（但しこの場合これは患者に対して効果があり、そして満足のいく痛みの治療を意味する）が強く要求されており、この研究は適用される鎮痛剤の分野で又は侵害受容に関する基礎研究の分野で最近発行されている多数の科学文献中に提示されている。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0003

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0003】

古典的なオピオイド、たとえばモルヒネは強い痛みないし極めて強い痛みの治療に十分に有効である。しかしその適用は、公知の副作用、たとえば呼吸抑制、嘔吐、鎮静、便秘及び耐薬性発現によって制限される。さらにこの使用は神経障害性痛又は突発的痛み（*inzidentielle Schmerzen*）（特にこれらの障害を煩う腫瘍患者）においてあまり有効でない。